



取扱説明書 保証書付

型式 / TYPE:WD031

規則 / Regulation: UN R129/03

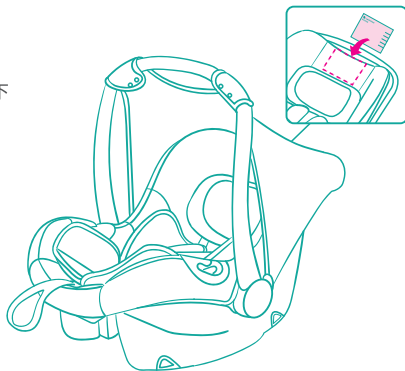
サイズ範囲 / 40 cm ~ 87 cm 以下, 体重 13kg 以下

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

また、本書は取付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。



お使いいただく前に

車に取付ける前に

車への取付け

お手入れの仕方・
保管など



お客様情報の
登録をお願い
します。



シリアルNo.をお控ください。

「本取扱説明書」(ウラ面の保証書)に「シリアル No.」の記入欄があります。
車両への取付けをおこなう前に「シリアル No.」をお控えください。

※車両への取付け後、車両シートで「シリアル No.」が見えにくい場合があります。

もくじ

お使いいただく前に

使用条件	2
安全にお使いいただくために	3
ご使用上の警告/注意	5
各部の名称	7

車に取付ける前に

インナーパッドの使い方	9
ハンドルの使い方	10
キャノピーの使い方	11
ベビーキャリーとしての持ち方	12
屋内での使い方	12

車への取付け

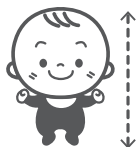
取付け準備	13
取付け方	15
取付け後の確認	18
幼児ベルトの長さ調整	19
幼児ベルトの高さ調整	20
お子さまの乗せ方	21
お子さまを乗せた後の確認	24

お手入れの仕方・保管など

シートカバーのはずし方/取付け方	25
お手入れの仕方	27
保管/廃棄の仕方/製品仕様	28
保証書	裏表紙

使用条件

お子さまの身長が



身長 40cm~87cm以下
体重 13kg 以下

取付け方向 後向き



お使いいただく前に

表示マークについて

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。



警告 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。



禁止 図示されている内容の禁止を示しています。



確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。



アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

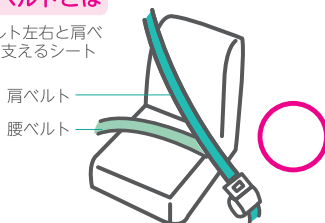
安全にお使いいただくために

車両シートベルトの種類と取付けのポイント

- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 又は同等の基準で認可された 3 点式リトラクター付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれ特長も違い、取付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客様の車両（シートベルト）に合った取付け方で装着してください。

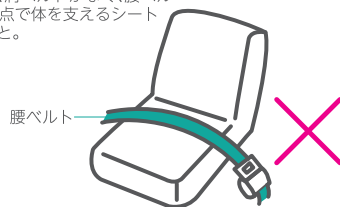
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルト左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。



取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴		取付け時の注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入入りし、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に縮まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、 チャイルドシート固定機能を解除してから 取付けてください。
その他	上記にあてはまらないシートベルト。	✕ 使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできるシート

●取付けは車両シートベルトを使用して確実に行ってください。

後部座席 後向き



⚠ 警告

エアバックの装備されている座席に使用しないでください。
エアバックの作動により、ケガや死亡のおそれがあります。

取付けできないシート

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが43cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に、運転に支障を及ぼす座席、及び前部中央座席。
(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けしないでください。
- 極端なバケットタイプなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、本製品を固定できない座席。

ご使用上の警告 / 注意



記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

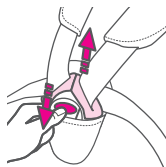
- 本製品は**取扱説明書どおり**に固定してください。
- お子さまの不定定な行動により、**ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し**、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず**腰ベルトを低く下げて着用**させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおり固定できないときは、**他の座席**に取付けてください。
- 本製品の**バックルをはずしたままでの使用は危険**ですので絶対にしないでください。
- 後部座席に人が乗る場合**の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、**緊急時の脱出口確保**のため、取付けしないでください。
- お子さまが、**バックル**の赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタンブが**バックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても**絶対に使用しない**でください。
- お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、**車両シートベルトでしっかりと固定**しておいてください。
- 本製品を**改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しない**でください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしない**でください。
(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりて放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考え**1時間以上連続して使用しない**でください。
- エアバッグ装備の座席には使用しない**でください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、**直射日光を避け各部が高温でないことを確認**してからご使用ください。
- 防寒の為などお子さまが厚着をした状態で使用しないでください。幼児ベルトでお子さまをしっかりと拘束できない可能性があります。



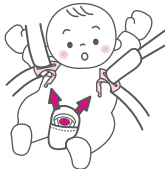
記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上がった、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。
- 座席の材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式座席または車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品をチャイルドシートとして使用する場合は車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

緊急時のお子さまのおろし方



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。



幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

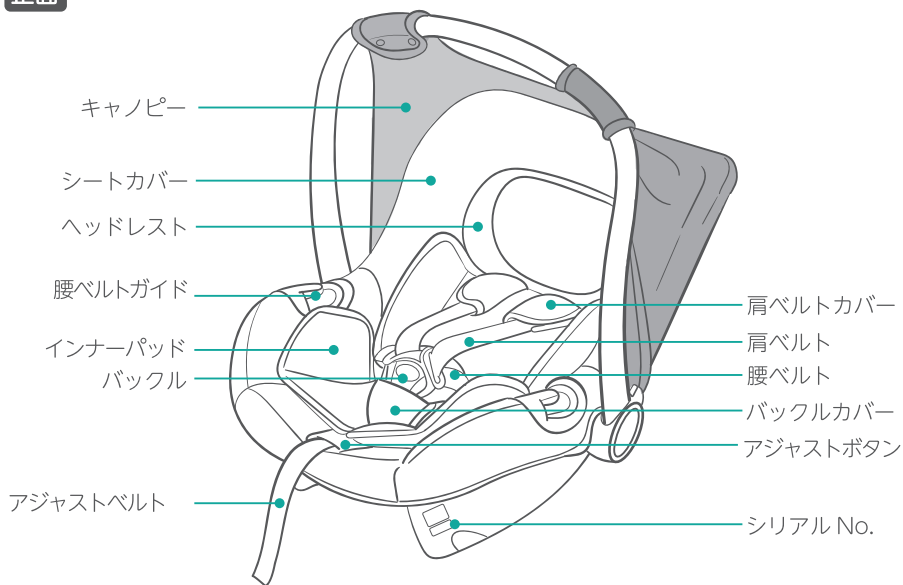


バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

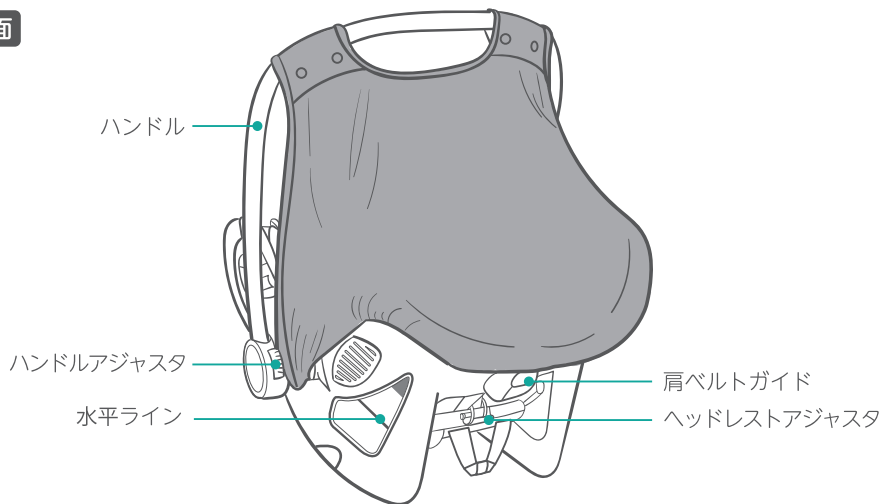
各部の名称

正面

お使いいただく前に



背面



※ハンドルの使い方は、10 ページ参照、キャノピーの使い方は、11 ページ参照

付属品

●取扱説明書(保証書付)

●お客様登録のお願い



インナーパッドの使い方

お子さまの身長に合わせた、下記使用条件に合わせてご使用ください。

	インナーパッド	肩ベルトカバー
身長が40～60cm以下 	○	○ ※必ず使用してください。
身長が60cmを超えて～87cm 	×	○ ※必ず使用してください。

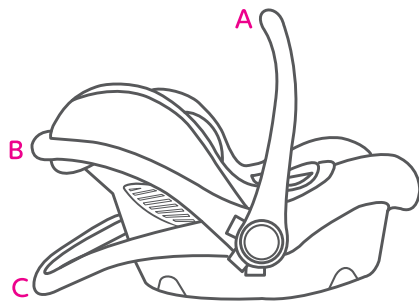


注意

- はずしたインナーパッドは車の室内に放置しないでください。
- チャイルドシートを運ぶ時はインナーパッドをつかまないでください。

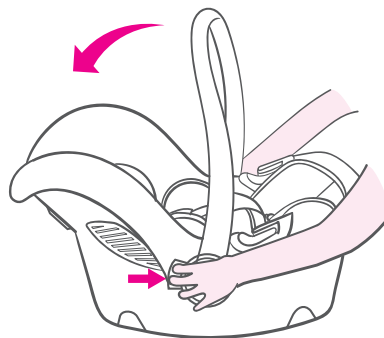
ハンドルの使い方

①ハンドルは3段階に調整できます。



②ハンドルの両方のボタンを同時に押します。

③次に、ハンドルアジャスタを押したまま、希望の位置に固定されるまでハンドルを後方に回します。

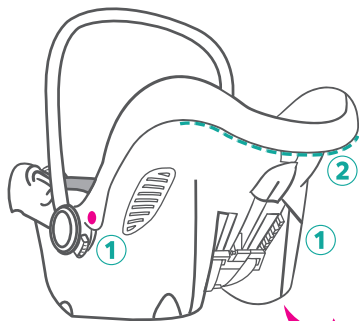


⚠ 注意 ●本製品を持ち上げる前に、ハンドルがしっかりと固定されていることを確認してください。

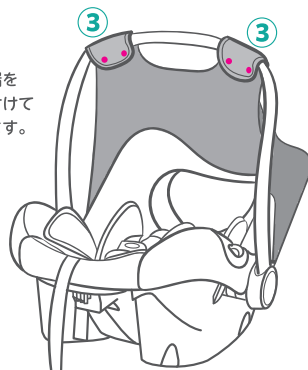
車に取付ける前に

キャンピーの使い方

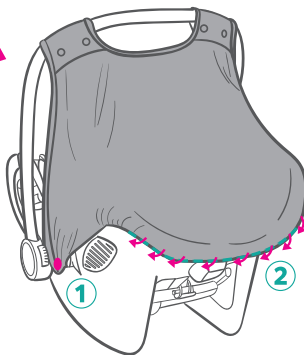
- ①キャンピーの左右のホックを
本体のホックに取付けます。



- ③キャンピーの前端を
ハンドルに巻き付けて
ホックを取付けます。



- ②キャンピーの後端を
シートの背もたれの
端部にひっかけます。



ベビーキャリーとしての持ち方

●チャイルドシートとしての用途以外に、ベビーキャリーとしても使用いただけます。



●両手でしっかり持ってください。



●本体の背と座を両手でしっかり持ってください。



●ハンドルを持たないでください。



注意

チャイルドシートとして使用する際と同様に、お子さまをしっかりと固定してください。

両手で
しっかり
持ってね。



車に取付ける前に

屋内での使い方

●屋内ではベビラックとしてもご使用いただけます。



注意

- チャイルドシートとして使用する際と同様に、お子さまをしっかりと固定してください。
- 斜面や不安定な場所へは置かないでください。
- ハンドルは安定させるために下段にセットしてください。



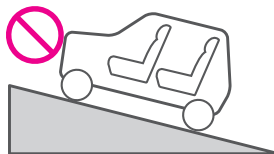
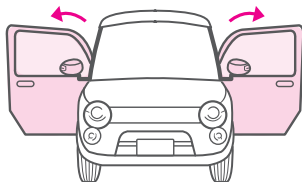
取付け準備

作業スペースの確保

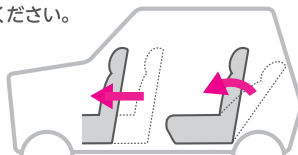


安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。



- 前座席を前に倒したり、前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



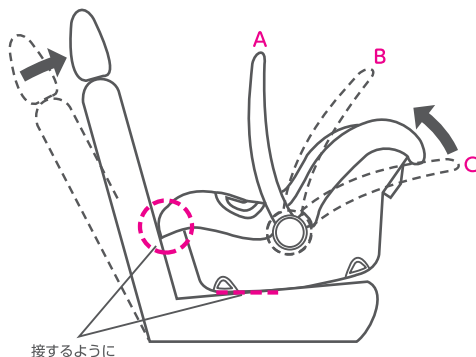
memo



取付け方

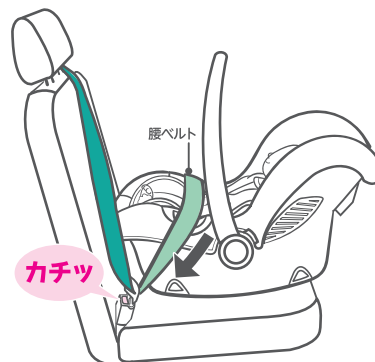
- イラストは後部左座席での取付けを説明しています。
- ※取付け方をわかりやすくするためにキャノピーを取り外しています。

1



- 車両シートのリクライニングが調整可能な場合は、起こした位置に戻してください。
- ハンドルの角度を A の位置に調整してください。
- 車両シートに対して、チャイルドシートを後向きに置きます。
- チャイルドシートの座面先端部が、車両シートの背もたれに接するように置いてください。

2

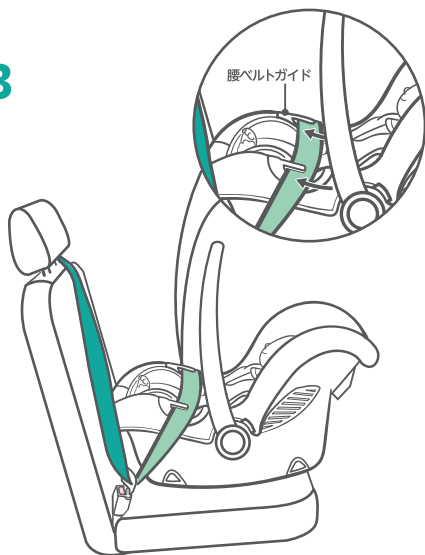


- 車両シートベルトを引き出し、腰ベルトが製品の上部を通してバックルに接続します。



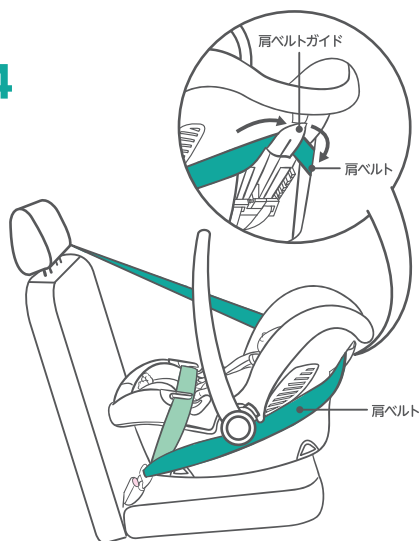
- シートベルトがねじれないように注意してください。

3



●両側の腰ベルトガイドに腰ベルトを通します。

4



●肩ベルトを引き出し、チャイルドシートの背面にある「肩ベルトガイド」に通します。

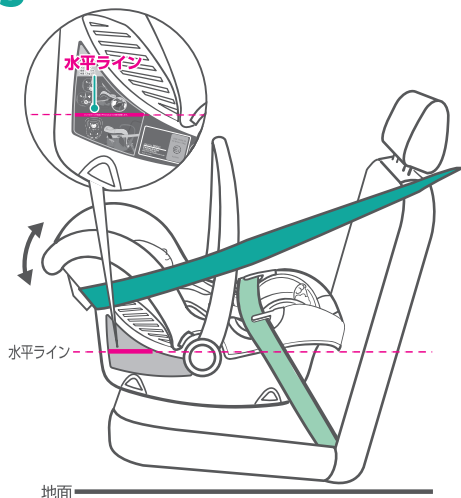


●シートベルトがねじれないように注意してください。

注意

取付け方

5



- 製品側面にあるラベルの水平ラインと地面が平行になるように角度を調整します。

6



- チャイルドシートを車両の背もたれに押しつけながら、肩ベルトを強く引きしっかりと固定します。



注意

- お子さまをのせたまま、取付け作業を行う場合は十分注意して作業をしてください。
- シートベルトの種類(P.3参照)によっては、肩ベルトをすべてひきだすと肩ベルトが巻き取られる側にしか動かなくなります。一旦、バックルを外し、肩ベルトをすべて巻き取って機能を解除してください。

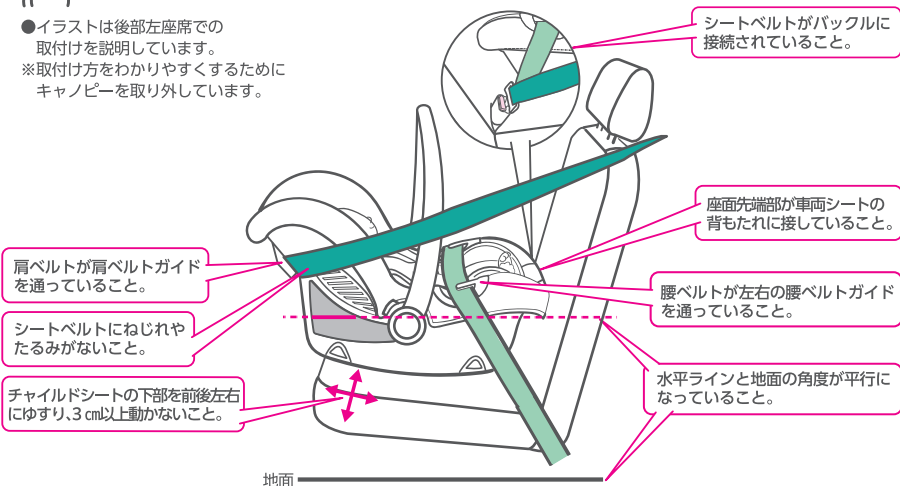
取付け後の確認



取付けが終わりましたら、製品がしっかり固定されていることを必ず確認してください。

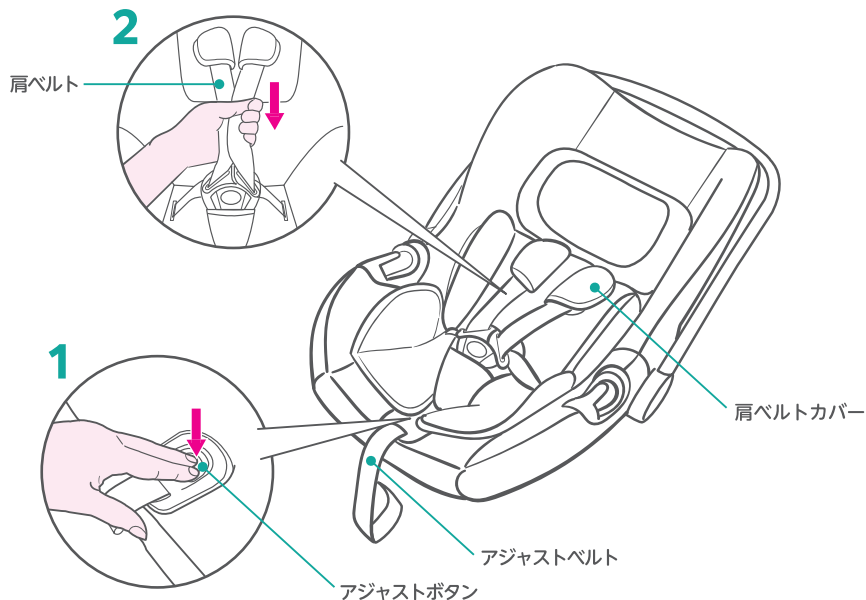
正しく取付けられていない場合は、もう一度15ページから17ページの手順をやり直してください。

- イラストは後部左座席での取付けを説明しています。
- ※取付け方をわかりやすくするためにキャノピーを取り外しています。



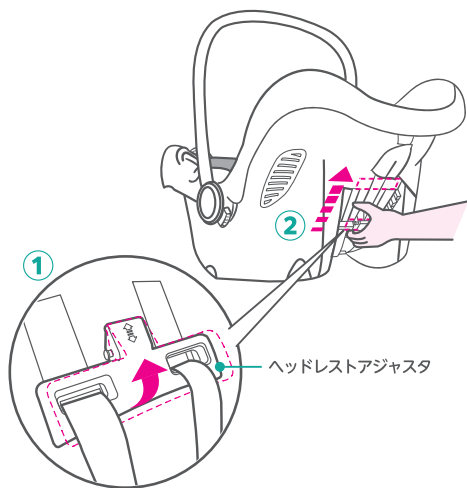
幼児ベルトの長さ調整

- アジャストボタンを押しながら、肩ベルトを引き出します。
- ※「肩ベルト」を引き出す際は、肩ベルトカバーをもたずに引き出します。

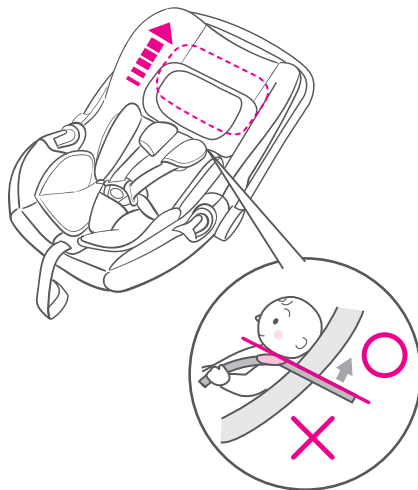


幼児ベルトの高さ調整

- 1** ①背もたれ裏側にあるヘッドレストアジャスタを上に持ち上げます。
②ヘッドレストアジャスタを持ち上げながら、お子さまの肩の位置に調整します。



- 2** ●お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから肩ベルトが出る位置になるようにヘッドレストを調整します。

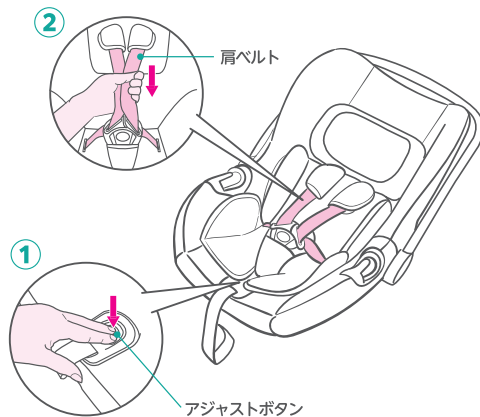


警告 肩ベルトの位置や長さはお子さまの体格に合わせて、必ず調整してください。

お子さまの乗せ方

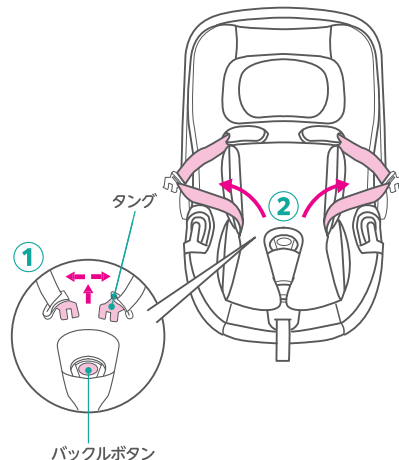
1 ●肩ベルト緩める

- ①アジャストボタンを押しながら、
- ②左右の肩ベルトを手前に引き、緩める。



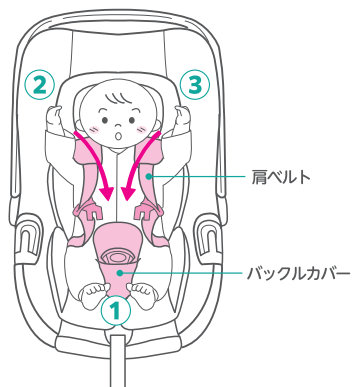
2 ●タングを外す

- ①バックルボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ベルトを左右に広げる。



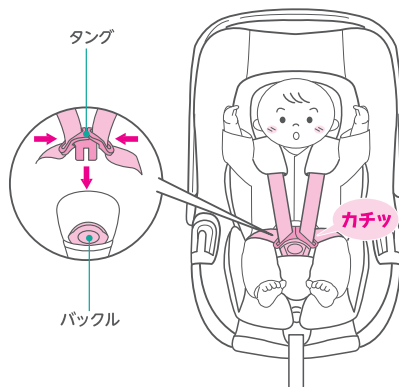
3 ●お子さまを乗せる

- ①お子さまの股の間とバックルカバーが接するように中央に寝かせ、お子さまのお尻が肩ベルトに乗っていないことを確認する。
- ②お子さまの肩に肩ベルトをかける。
- ③お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ベルトの位置に調整する。(P19,P20)



4 ●タンブを差し込む

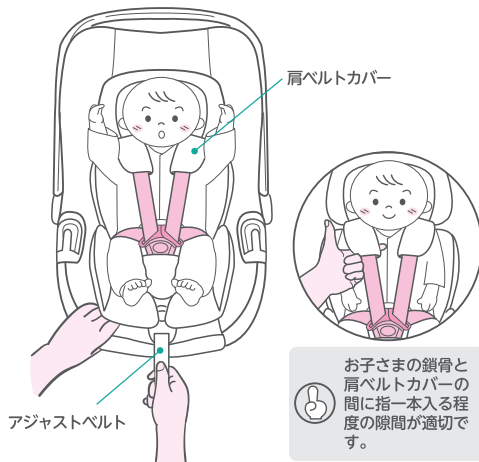
- 左右のタンブを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



お子さまの乗せ方

5 ●幼児ベルトを調整する

- ①左右の肩ベルトカバーをお子さまの肩の中央にかかる位置に調整します。
- ②腰ベルトをお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかけます。
- ③アジャストベルトをまっすぐ手前に引き、幼児ベルトを調整します。



お子さまを乗せた後の確認



お子さまを乗せた後に必ず確認してください。

正しくできていない場合は、P21～P23の手順をやり直してください。

肩に近い肩ベルト高さに
調節されていること。

肩ベルトカバーがお子さま
の肩の中央にかかる位置に
調節されていること。

バックルカバーがお子さまの足
の間に通っていること。

肩ベルトカバーにねじれ、ゆるみ
がないこと。

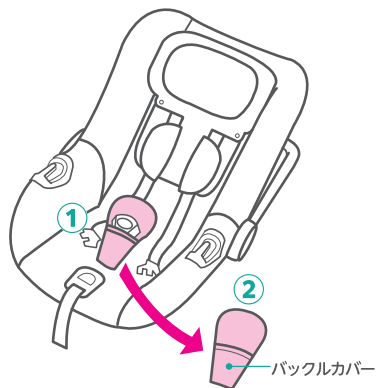
タンクがバックルにしっかりと
差し込まれてロックされてい
ること。

腰ベルトがお子さまの腰骨ので
きるだけ低い位置にかかって
いること。

シートカバーのはずし方 / 取付け方

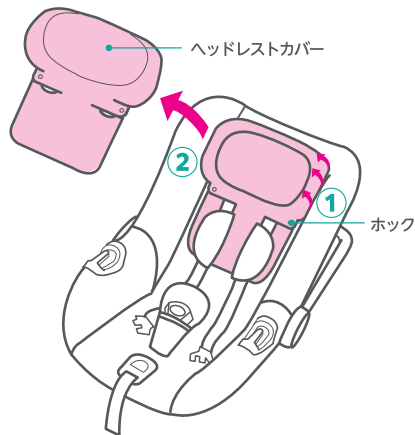
●バックルカバーを取り外す

- ①バックルのタングを外します。
- ②バックルカバーを外します。



●ヘッドレストカバーを取り外す

- ①ヘッドレストカバーのホックを外します。
- ②ヘッドレストカバーをめくるように外します。



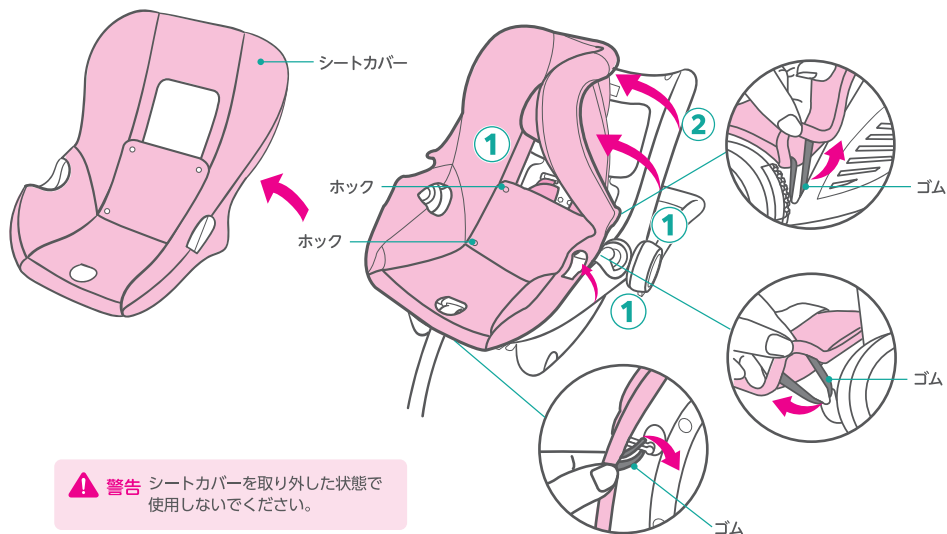
⚠ 警告 シートカバーを取り外した状態で使用しないでください。

●シートカバーを取り外す

- ①シートカバーのホックとゴムを外します。
- ②シートカバーの外側からめくるように外します。



カバーを取付ける場合は、
下記の逆手順でおこなって
ください。



⚠ 警告 シートカバーを取り外した状態で
使用しないでください。

お手入れの仕方

重要な注意すべき点

シートカバー、ベルト類、クッション類、インナーパッド、バックルなどは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。パーツ取付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、紛失または、取付け忘れが無いように十分注意してください。

洗濯と日常のお手入れ

日常のお手入れ方法

- 取りはずしができるキャノピー、ウレタン、クッション類は取りはずしてから手洗いしてください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部は水では洗えません。固く絞った濡れタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

！ ●ガソリン、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や次亜塩素酸水、原液の中性洗剤などの薬品は使用しないでください。樹脂部品や縫製品をいためるおそれがあり危険です。

シートカバーなどの縫製品の洗い方



●中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。



●ドライクリーニングはしないでください。



●酸素系漂白剤、塩素系漂白剤は使用しないでください。



●アイロン掛けはしないでください。



●洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

保管 / 廃棄の仕方 / 製品仕様

保管／廃棄の仕方／製品仕様

- 保管** ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。
- 廃棄** ●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。
- 製品仕様** 製品サイズ W680 D435 H585mm (最起位)
材 質 本 体…PP、ウレタン
シートカバー…表／ポリエステル 裏／ウレタン